

## ピリジン

分子量：79.10

CAS RN：110-86-1

濃度基準値：1 ppm

物性等

比重：0.982

沸点：115.5°C

融点：-42.0°C

蒸気圧：2.0 kPa (25°C)

形状：淡黄色又は無色の液体。特異臭。

別名：

以下の測定法に使用する物品は、現在販売の無いものもあるが、同等の性質のものを使用して差し支えない

サンプリング例	分析例
サンプラー：XAD-7 (Cat.No.226-95) SKC 製 (100/50 mg) サンプリング流量：0.1 L/min サンプリング時間：4 時間 (24 L) 保存性：冷蔵 (4°C) で少なくとも 5 日間保 存可能であることを確認。	分析方法：ガスクロマトグラフ-FID 分析法 脱着：メタノール 1 mL 30 min 静置 (時々振とう) 機器：島津製作所 GC2014 カラム：GL Sciences inertCap for Amines 60 m×0.32 mm 注入口温度：260°C 検出器温度：250°C カラム温度：50°C (5 min) -5°C/min -140°C-10°C/min-220°C (5 min) 注入法：スプリットレス (低濃度域) スプリット (10:1) (高濃度域) 導入量：1 μL (低濃度域) 2 μL (高濃度域) キャリヤーガス：He 150 kPa 保持時間：約 22.5 min 検量線：0.122~195 μg/mL の範囲で直線性 が得られている。 定量法：絶対検量線法
精度	
脱着率 添加量 0.122 μg：101.6% 0.780 μg：103.1% 156 μg：100% 添加回収率 (4 時間) 添加量 0.122 μg：101.6% 0.780 μg：103.1% 156 μg：100% 定量下限 (10 σ) 0.122 μg/mL 0.0016 ppm (v/v) (採気量 24 L)	

適用：個人ばく露測定 八時間時間加重平均

測定上の注意：個人ばく露濃度測定のような長時間の測定においては、回収率を確保するため、捕集管を 2 連にしてサンプリングを行い、後段を分析して破過の有無を確認する必要がある。

安全上の注意：ピリジンは眼に対する重篤な損傷・眼刺激性、皮膚腐食性・刺激性があるので、化学防護手袋や保護眼鏡を着用する。メタノールを扱う際も同様の防護が必要である。吸入による有害性があるのでドラフトで作業する。

根拠文献：

ピリジンの測定・分析手法に関する検討結果報告書 (2015/02/28)

[https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11201000-Roudoukijunkyo-Soumuka/bakuro27\\_3\\_shiryoku2\\_5.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11201000-Roudoukijunkyo-Soumuka/bakuro27_3_shiryoku2_5.pdf)

参考文献：

1)化学物質の環境リスク評価 第4巻、環境省環境保健部環境リスク評価室

2)The National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH)：PYRIDINE：METHOD 1613(1994)

3)Occupational Safety &amp; Health Administration (OSHA)：PV229

作成日 2024/01/31